

交通バリアフリー教室 in 水戸市立双葉台小学校

茨城運輸支局では、令和6年11月19日（火）に水戸市立双葉台小学校の4年生80名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和6年11月19日（火） 9:25 ～ 11:40
- 場 所：水戸市立双葉台小学校
- 参加者：4年生 80名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- グループ発表
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)
- まとめ

参加者の感想

- ・（車いすは）急に動かされると怖いから声をかけてから介助してあげたい
- ・障がいがある人がバスに乗ろうとしている時は助けてあげたい
- ・介助者だけでは困ることがあるので助けてあげたい
- ・車いすに乗っている人の気持ちが分かった
- ・自分がバスに乗っていて障がい者の方が来たら、自分から「お手伝いしましょうか」と助けてあげたい
- ・車いすの人を見たら助けてあげたい
- ・車いすに乗っているときに「お手伝いしますか」と言われると嬉しい気持ちになった
- ・困っていたら手伝ってあげるようにしたい
- ・身体の不自由な人の手伝いをするのは大変と思った
- ・手伝う気持ちが大切だと思った